

令和3年1月22日

情報通信研究機構
大分県産業科学技術センター
福島ロボットテストフィールド

「空の産業革命」実現に向けたテストサイト間の協力に関する協定締結について

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）ワイヤレスネットワーク総合研究センター、大分県産業科学技術センター及び福島ロボットテストフィールドの三者は、「空の産業革命」実現に向けたテストサイト間の協力に関する協定を締結しました。

本協定では、試験研究機関（テストサイト）である三者がそれぞれ保有する知見やノウハウをもとに連携し、ドローンや空飛ぶクルマなどの安全な運用に必要な規格・試験方法の確立に向け連携して取り組むとともに、それぞれの特色ある施設を有効活用して社会実装に寄与することを目的としています。

ドローンによる物流や空飛ぶクルマなどの開発・実証が進む中、我が国の社会的課題の解決を目指す「空の産業革命」の実現に向け、本協定に基づいて三者間で緊密に連携し、ドローン等の社会実装に向けた取組に貢献していきます。

1 協定締結式

日時：令和2年11月27日（金） 15:20～16:20

場所：ビッグパレットふくしま 多目的ホール メインステージ

（「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020」内）



ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020での協定締結式

2 本協定の概要

「空の産業革命」実現に向けたテストサイト間の連携協定

「空の産業革命」実現に向けて国内3つの試験研究機関が保有する知見やノウハウをもとに連携し、試験・規格方法の確立や特色ある施設の有効活用を通じ、ドローン等の社会実装に寄与することを目的に締結

【連携協定内容】

- ①ドローン等の安全かつ効果的な運用に関すること
- ②ドローン等の規格・基準に関すること
- ③ドローン等のテストサイト活用促進に関すること
- ④テストサイトの施設及び機能の強化に向けた調査・研究に関すること

国内3つのテストサイトが相互連携



(国研) 情報通信研究機構
ワイヤレスネットワーク
総合研究センター



大分県
産業科学技術センター
先端技術イノベーションラボ



(公財) 福島イノベーション・
コースト構想推進機構
福島ロボットテストフィールド

ドローン・空飛ぶクルマ等の社会実装に寄与

①安全かつ効率的な運用（運用基準の検討）

- ドローン活用プラント点検事業者認証ガイドライン
- ドローン活用警備事業者認証ガイドライン
- 災害時における無人航空機活用ガイドライン
- 国際イベント等でのパブリックセーフティのためのガイドライン など

②規格・試験方法等（技術基準の検討）



電波暗室



ドローンアナライザー



連続耐久試験棟

③テストサイトの利用促進（施設の相互利用）



ワイヤレスネットワーク
総合研究センター



先端技術イノベーションラボ
(Ds-Labo)



福島ロボットテスト
フィールド

④テストサイト施設・機能強化の調査研究

- 実証実験で得たデータ・課題の共有
- 空飛ぶクルマ、AIへの対応
- 国際標準化動向への対応
- 国等の施策動向への対応
- 事象事例の分析 など



NICTワイヤレスネットワーク総合研究センター・大分県産業科学技術センター・福島ロボットテストフィールド

3 本協定の締結者

(1) 国立研究開発法人情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク総合研究センター

所在地：神奈川県横須賀市光の丘3番4号

代表者：国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター
総合研究センター長 寶迫 巖

概要：情報通信分野を専門とする日本唯一の公的研究機関として、日本が提唱する未来社会のコンセプト「Society 5.0」という超スマート社会の実現に向けて、陸・海・空・宇宙のあらゆる状況や環境の下で「つながる」ワイヤレスネットワークの研究開発や、Beyond 5Gや6Gを見据えた無線技術・システムの普及に取り組む。

(2) 大分県産業科学技術センター

所在地：大分県大分市高江西1-4361-10

代表者：大分県産業科学技術センター センター長 小谷 公人

概要：技術支援や研究開発の取組を通じて、大分の活力創造に向けた「次世代産業の育成」と「県内産業の基盤強化」を目指す大分県の工業系公設試験研究機関。2018年4月に「先端技術イノベーションラボ（通称：Ds-Labo）」を開設し、ドローン・ロボット分野と電磁力応用関連分野の拠点化を推進。

(3) 福島ロボットテストフィールド

所在地：福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番

代表者：公益財団法人福島イノベーション・コースト推進機構
福島ロボットテストフィールド 所長 鈴木 真二

概要：福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された、陸・海・空のフィールドロボット
の一大開発実証拠点。ロボットの性能評価や操縦訓練等ができるよう、東西約 1,000m、南北
約 500m の広大な敷地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」、「水中・
水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設け、インフラや災害現場など実際の使用環境
を再現している。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター ワイヤレスシステム研究室	電話番号 046(847)5445
大分県産業科学技術センター 企画連携担当	電話番号 097(596)7100
公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールド	電話番号 0244(25)2472